



東北大学



平成22年11月9日
東北大学大学院医学系研究科

オートプシー・イメージングセンターの開所について (死因解明に向けて)

東北大学大学院医学系研究科は、平成22年4月1日より「オートプシー・イメージング¹センター (Ai センター)」を設置致しました。同センターは、死因解明のための社会貢献、教育及び研究などを主な目的としております。近年、死因の解明において、より強固で客観的な証拠を求める社会的な要請が高まっており、また、そのための技術的な画像技術の進展も著しいことから、オートプシー・イメージングを集中的に実施すると共に、それを担う専門家の養成のためのセンターの設置に至りました。現在、医学系研究科内に CT スキャン、MRI などの画像診断装置を設置し、法医解剖前の画像診断を行い情報提供するシステムを構築するとともに、今後はさらに、社会に開かれたセンター構築を目指しております。

・「本センターは、平成22年-26年度文部科学省特別教育研究経費【法医養成教育プログラムの開発】によって、サポートされました」

東北大学におけるオートプシー・イメージングセンターの役割

本センターは、以下の役割を担っていきます。

- (1) 法医解剖前オートプシー・イメージング (死因究明への画像診断)
 - 頭蓋内、胸腹腔内の大きな傷病変の確認
 - 解剖前の重要病変の情報
 - 解剖前の遺体情報の保存
 - 解剖情報者の感染予防 (結核など)
- (2) 第三者機関として外部委託の画像診断

オートプシー・イメージングセンター開所式、記念講演会

本センターの開所に際して、以下の通り、開所式および記念講演会を行います。

日 時 平成22年11月9日 (火) 午後4時30分から午後6時まで

場 所 民陵会館2階 記念ホール (仙台市青葉区広瀬町3-34 022-227-2721)

講演会次第

- (1) 「オートプシー・イメージングセンター開所にあたり」 東北大学大学院医学系研究科長 山本雅之
- (2) 「東北大学のAiの現況」 東北大学大学院医学系研究科画像解析学分野教授 齋藤春夫
- (3) 「医療施策としてのAiの現況」 厚生労働省医政局総務課 医療安全推進室長 渡辺真俊
- (4) 「日本におけるAiの現状と課題」 Ai情報センター代表理事 山本正二
- (5) 「宮城県医師会における医療安全の取り組み」 宮城県医師会副会長 桜井芳明



図1：Aiセンター地図

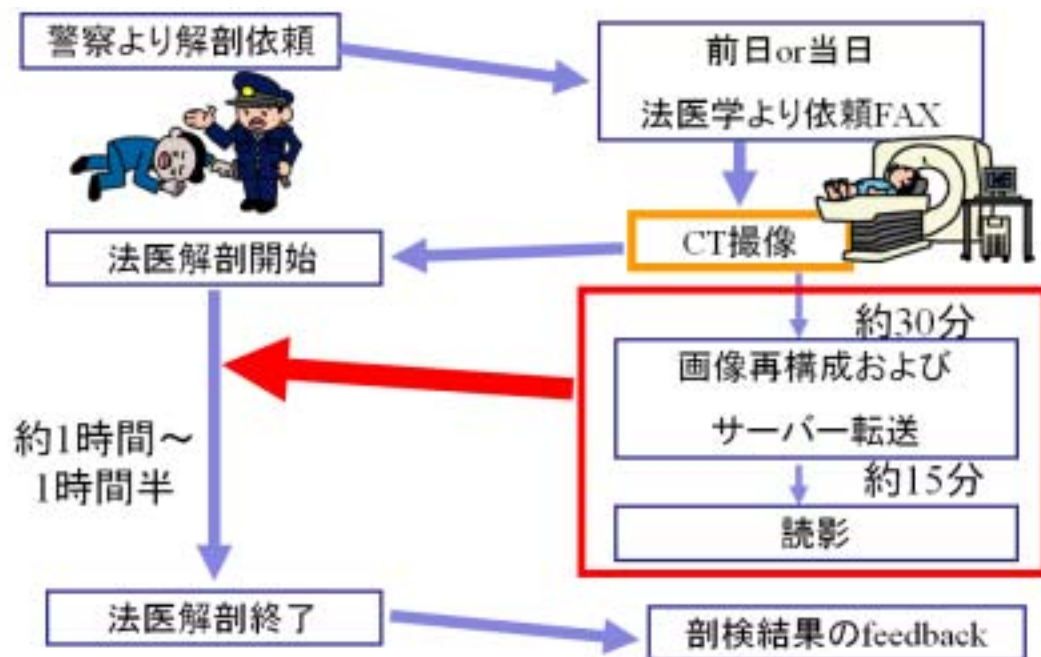


図2：Aiの流れ



図3：CTでの撮影の様子



図4：撮影後の診断風景

【用語説明】

Autopsy imaging(Ai)：オートプシーは解剖、イメージングは画像診断の略語。死後画像診断。CTやMRI画像などで、体内の出血や骨折の状況などを調べ、死因を探る方法。厚生労働省で議論されている死因究明の第三者機関の試案にも、解剖に加えて「死亡時画像診断を補助的手段として活用することも検討」と明記されている。

（お問い合わせ先）

東北大学大学院医学系研究科 画像診断学分野

教授 石橋 忠司（いしばし ただし）

電話番号：022-717-7481

Eメール：tisibasi@med.tohoku.ac.jp

（報道担当）

東北大学大学院医学系研究科広報室

長神 風二（ながみ ふうじ）

電話番号：022-717-7908

ファックス：022-717-8187

Eメール：pr-office @med.tohoku.ac.jp